

テンプレート前ロール「ロール 3」の F6 表示修正と F5 ルビ送信

表示された文を前ロールにして、F6 キーで「訂正送信」機能、F5 キーで「ルビ送信」機能を使えます。

1) F6 表示修正機能

【概要】

・「表示部」に表示された文を「前ロール 3」に取り込んで、「訂正送信」ウィンドの機能が F6 キーで使えます。今までの F7 キー、F11 キー、F9 キーなどの訂正 F キーも利用できます。

表示された文を前ロールにして訂正送信ができます。

④表示文が訂正されます。

②「ロール3」でF6キーを押すとカーソルのある行全体が「訂正送信」ウィンドの「元文」枠に入ります。

③文を訂正してShift+F6キーを押すと、カーソルのある行全体が「訂正」枠に入り、自動的に「訂正(送信)」ボタンが押されて訂正・送信されます。

①「確認」ページの「ロール3に表示を残す」チェックを入れると、「ロール3」に1入力ごとに表示文が入ります。

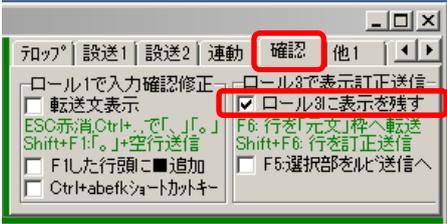
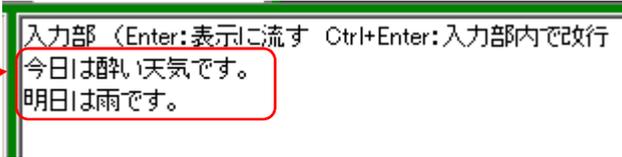
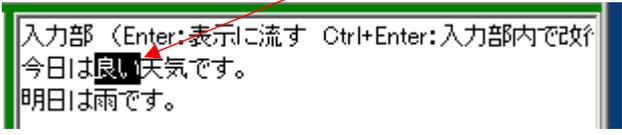
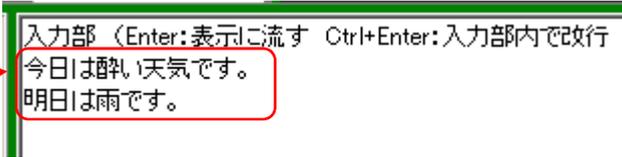
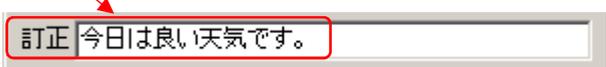
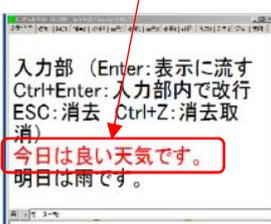
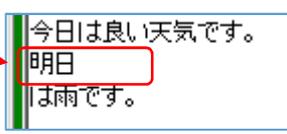
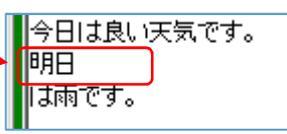
★「ロール3」で追記修正中に表示文が追加されても、カーソルが移動してしまふことはありません。

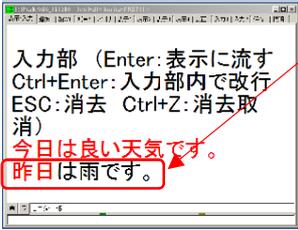
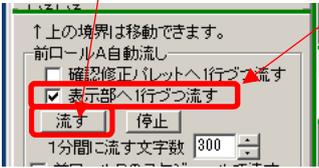
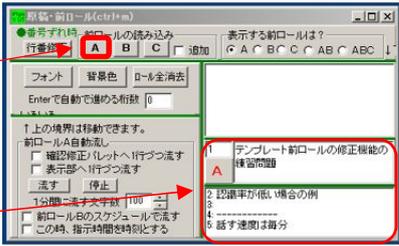
「確認」ページを追加しました。

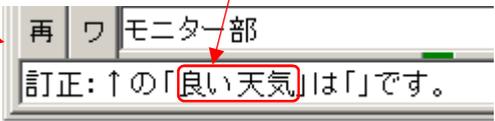
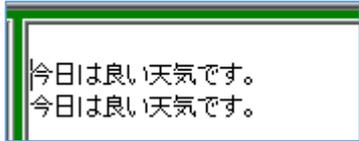
「ルビを表示している」場合は「泣き分かれ」した文を訂正する時に注意が必要です。(手順が複雑) それで、まず「ルビを表示していない」場合の説明をします。

1-1) ルビを表示していない場合

No	操作	反応
1	<p>①IPtalk9t66.exe を起動します。</p> <p>②表示設定を同じにするために、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押します。</p> <p>③「選択」ページの「上級者用(全機能)」のラジオボタンを入れてます。</p> <p>【ヒント】</p> <p>②「初期値に戻す」ボタンを押さない場合は、「表示 1」ページの「固定桁数で表示する」チェックを外してください。</p>	<p>【注意】</p> <p>「固定桁数で表示する」チェックを外せば「ルビを送受信する」チェックも外れますが、逆に「ルビを送受信する」チェックを外しても「固定桁数で表示する」チェックは外れません。</p>

<p>2</p>	<p>①「テンプレート前ロール」ウィンドを表示して、</p> <p>②「確認」ページの「ロール 3 で表示訂正送信」枠の「ロール 3 に表示を残す」チェックを入れます。</p>  <p>③「ロール 1」と「ロール 2」も消去しておくとも良いと思います。</p>	<p>②-1 説明のウィンドが出ます。</p> <p>「表示をロール 3 に入れる」チェックを入れると「訂正送信」ウィンドの訂正機能を F6 キーで使うことができるようになります。「F6 キー」でカーソルのある行を「元文」枠に転送します。「Shift+F6 キー」でカーソルのある行を「訂正」枠に転送し「送信」します。「元文」を確認して使う事を想定しているの「訂正送信」ウィンドを表示します。」</p> <p>②-2「訂正送信」ウィンドが表示されます。</p> <p>・「テンプレート前ロール」ウィンドの上辺りに移動すると良いと思います。</p> <p>②-3「前ロール 3」を消去しますか?と出るので「はい」を押す。</p> <p>・前ロールは改行されないの、横に広めにしておくのが良いと思います。</p>
<p>3</p>	<p>「メイン」ウィンドの「入力部」で何か入力して、それを訂正してみます。</p> <p>①Enterして「入力部・・・」を表示に流し、「今日は酔い天気です。」+Enter、「明日は雨です。」+Enter とに入力します。</p> <p>②「ロール 3」で「今日は良い天気です」の行にカーソルを置き、F6 キーを押します。</p> <p>③「ロール 3」で「酔い」を「良い」に訂正して、Shift+F6 キーを押します。</p>   <p>【ポイント】 F6 キーの訂正は、カーソルのある行全体を「訂正送信」ウィンドに送っています。このため、行全体が訂正されたように表示されます。</p>	<p>①「表示部」と「ロール 3」に入力文が表示されます。</p>  <p>②カーソルのある行全体が「訂正送信」ウィンドの「元文」枠に入ります。</p>  <p>③カーソルのある行全体が「訂正送信」ウィンドの「訂正」枠に入り、「訂正(送信)」ボタンが押されて、表示部が訂正されます。</p>  
<p>4</p>	<p>「明日」という文字だけを「昨日」に訂正してみます。</p> <p>①「ロール 3」で「明日」の後で改行して「明日」だけの行を作ります。</p>  <p>②「明日」の行で F6 を押します。</p>	<p>①</p>  <p>②「元文」枠に「明日」と入ります。</p>

<p>③「明日」→「昨日」に訂正して、Shift+F6 を押します。</p> <p>【ポイント】 行を Enter で分割して「元文」に使い、その行をそのまま訂正します。</p>	<p>③「訂正」枠に「昨日」と入って、表示が訂正されます。</p>  <p>入力部 (Enter: 表示に流す Ctrl+Enter: 入力部内で改行 ESC: 消去 Ctrl+Z: 消去取消) 今日は良い天気です。 昨日は雨です。</p>
<p>5 訂正している途中で、表示が追記されてもカーソルが動いたりせず、訂正を続けられることを試します。</p> <p>①「表示 1」ページの「空行にみ改行」チェックを入れます。</p> <p>②「原稿前ロール」ウィンドを表示し、「前ロールの読み込み」枠の「A」ボタンを押して、IPtalk に同梱されていた「O テンプ前ロール修正の練習用音声入力量ログ.txt」などの前ロールを読み込みます。</p> <p>③「原稿前ロール」ウィンドの下の方の「前ロール A 自動流し」枠の「表示部へ1行ずつ流す」チェックを入れます。「流す」ボタンを押します。</p>  <p>④「ロール 3」をクリックして、カーソルを「ロール 3」に置きます。「ロール 3」で何か入力したり、カーソルを矢印キーで移動させることができることを確認してください。</p> <p>⑤F6 キーで「元文」、Shift+F6 キーで「訂正」を試してみてください。</p> <p>⑥「ロール 1」や「ロール 2」をクリックしてカーソルを移動して「ロール 3」が最新行を表示することを確認してください。</p> <p>⑦「停止」ボタンを押します。 もう一度、最初から流す場合は、「原稿前ロール」の「いろいろ」枠の「行ジャンプ」ボタンを押すと1行目に戻ります。</p>	<p>②</p>  <p>③「表示部」と「ロール 3」に流れ始めます。「ロール 3」は下まで行くとスクロールして最新行を表示します。</p> <p>④カーソルを「ロール 3」に置くと、表示が追加されても自動的にスクロールしません。入力も通常通りにできます。</p> <p>⑤【ヒント】スクロールが速過ぎる場合は、「原稿前ロール」の「1 分間に流す文字数」を「200」くらいに下げてください。</p> <p>⑥「ロール 3」にカーソルがある時だけ自動スクロールが止まります。</p> <p>⑦前ロールが止まります。</p>

<p>6</p>	<p>「ルール 3」で使える他の訂正機能を試します。 F7 キーを試します(「ルール 3」のみの機能)</p> <p>①メインウィンドの「訂正」ページで「F7 キーを訂正キーにする」チェックを入れます。</p> <p>②「ルール 3」で範囲選択して F7 キーを押します。</p> <p>③訂正文を入れて、Enter キーで表示に流します。</p> <p>④Ctrl+n で「ルール 3」にカーソルを戻します。</p>	<p>②F7キーのテンプレート「訂正: ↑の「」は「」です。」の「」の部分に選択された文が、「入力部」か「サブ入力」ウィンドの上段枠に入り、カーソルが移動します。</p>  <p>【ヒント】「サブ入力」ウィンドが表示されていれば、「サブ入力」ウィンドを優先して入れます。</p>
<p>7</p>	<p>「テンプレート前ロール」の他の機能は通常と同じに使えることを試します。 F1 キー、F9 キー、F11 キーを試します。</p> <p>①F1 キーで表示に流れます。 この時、「他 2」ページの「カーソルの送り方」や「F1 で空行も送る」チェックなども有効です。 「連動」ページの「モニターに送信」のチェックも有効です。</p> <p>②F9 キーを押すと Undo します。ただし、表示はどこにも戻って来ません。</p> <p>③メインウィンドの「訂正」ページで「F11 キー」枠の「Del キー/Cls キーにする」チェックを入れます。 F11 キーを押すと「表示部」の最後の 1 文字が消えます。 Shift+F11 で消去です。</p>	<p>①表示に F1 で流すと、「ルール 3」にも表示されるので、同じ文が 2 行表示されることになります。</p> 

【ヒント】

「訂正送信」ウィンドを使っている方には当たり前と思いますが、「元文」指定には「表示部の色記号」や「表示部での改行」を意識する必要があります。

「ロール 3」で「元文」を指定する時は、表示部の色記号「1」「0」や「改行」に注意

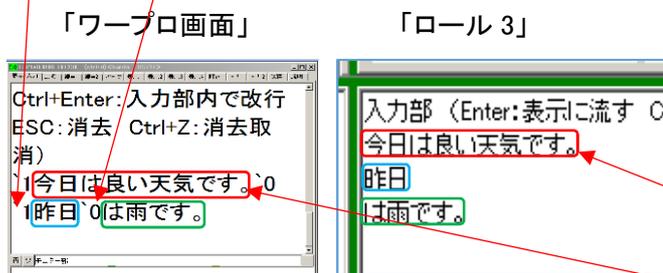
上の操作「3」でやったことは・・・

Enter で行を分割して F6 キーで「元文」に「明日」と入れ、「明日」→「昨日」に訂正して、Shift+F6 を押すと

表示部で訂正されます。



この時、「スムーズ画面」で「昨日は雨です。」と見えている部分を「ワープロ画面」で見ると、「1」「昨日」「0」「は雨です。」のように色記号の「1」「0」で分割されていることが判ります。



F6 キー訂正をした時、「ロール 3」の 1 行は、「表示部」で色記号で分割されない部分と 1 対 1 に対応しています。このため、「ロール 3」の 1 行を、「そのまま使う」か「分割する」して、次の訂正の「元文」に使うことができます。しかし、「ロール 3」で行を連結すると、訂正の「元文」にはできない場合があります。(注 1)

例)

「ロール 3」で「昨日」と「は雨です。」を連結して「昨日は雨です。」として、F6 で「元文」に入れても、「ワープロ画面」では「昨日 0 は雨です。」と「0」が入っているので見つけられません。

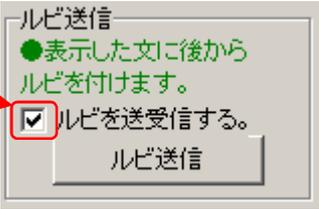
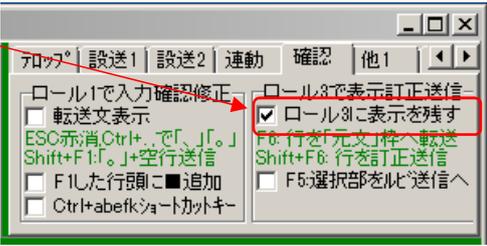
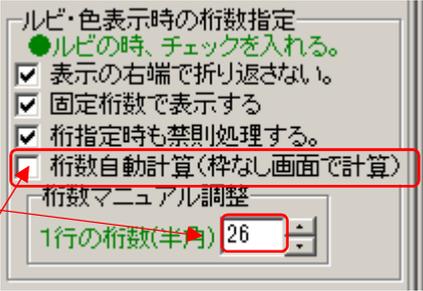
(注 1) 次の条件の時は、行を連結して「元文」にすることができます。

- ①「空行のみ改行」にして、「空行」で改行されていない範囲。
- ②「表示部」で「色が変わっていない」、「ルビがついていない」範囲。

1-2) ルビを表示している場合

「表示 1」の「ルビを送受信する」チェックが入っている場合は、「元文」の指定に注意が必要です。

「泣き分かれ」している文は「元文」に指定できません。

No	操作	反応
1	<p>①IPtalk9t66.exe を起動します。</p> <p>②表示設定を同じにするために、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押します。</p> <p>③「選択」ページの「上級者用(全機能)」のラジオボタンを入れています。</p>	<p>【ヒント】</p> <p>続けて試す場合も、念のため「初期値に戻す」をしてください。</p>
2	<p>①「テンプレート前ロール」ウィンドを表示します。</p> <p>②「ルビ送受信する」チェックを入れています。</p> <p>③「テンプレート前ロール」の「確認」ページの「ロール 3 で表示訂正送信」枠の「ロール 3 に表示を残す」チェックを入れます。</p>	<p>②</p>  <p>③</p> 
3	<p>「ルビ」を表示している時の「表示訂正」機能は、表示機と「訂正」機の「桁数」が同じことを前提にしています。</p> <p>必ず表示機の「桁数」と合わせてください。</p> <p>(今回は確認のみ)</p> <p>①「表示 1」ページの「ルビ・色表示時の桁数指定」枠の「1 行の桁数」を確認します。(「26」が規定値です)</p> <p>②ウィンドの大きさを変えた時に、自動調整で数字が変わらないように「桁数自動計算(枠なし画面で計算)」チェックも外しておくが良いと思います。</p> <p>【ヒント】</p> <p>今回は確認のみですが、実際に使う時は、表示機と「桁数」を合わせてください。</p> <p>「桁数」やチェックは設定保存されます。</p>	

4 「メイン」ウィンドの「入力部」で何か入力して、それを訂正してみます。

①Enterして「入力部・・・」を表示に流し、「今日は朝から暖かくてよい天気です。」+Enter、

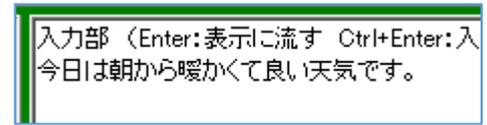
うまく行く例として「今日」を「昨日」に訂正します。

②「ロール 3」で改行して「今日」だけの行を作り F6 キー、「昨日」に訂正して Shift+F6 キーを押します。

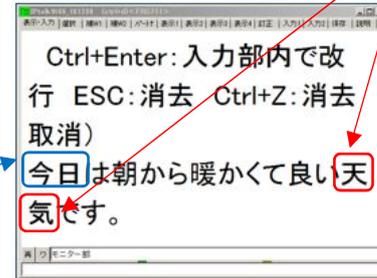
行末で「泣き分かれ」した「天気」を「元文」に指定して訂正しても、うまく行かないことを確認します。

③「ロール 3」で改行して「天気」だけの行を作り F6 キー、「気候」に訂正して Shift+F6 キーを押します。

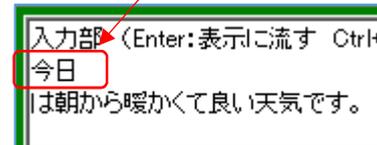
②「ロール 3」に表示されます。



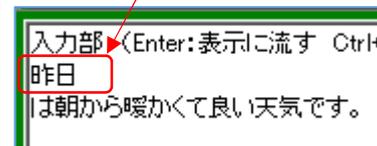
表示部には、「天気」が「泣き分かれ」て表示されます。



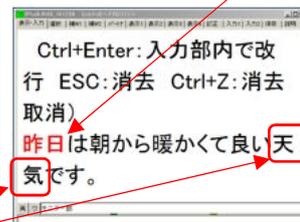
②「今日」だけの行を作り F6 キー



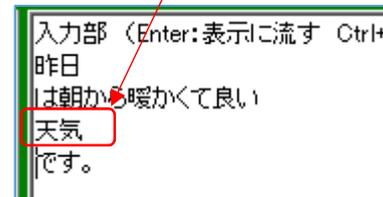
「今日」→「昨日」に訂正して Shift+F6 キー



表示部で「昨日」に訂正された。



③「天気」だけの行を作り F6 キーを押す

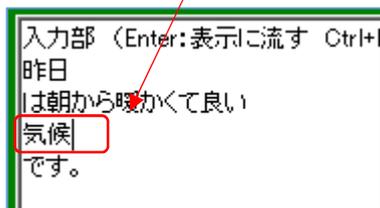


「泣き分かれ」を考慮して「天」「気」を「元文」に指定して訂正します。

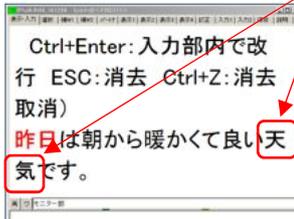
④改行して「天」だけの行を作り F6 キー、「気候」に訂正して Shift+F6 キーを押します。

残っている「気」を半角スペースで消します。

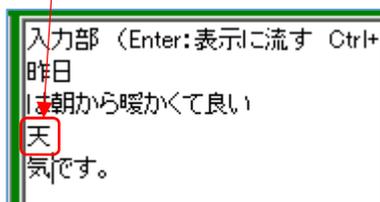
「天気」→「気候」に訂正して Shift+F6 キーを押す



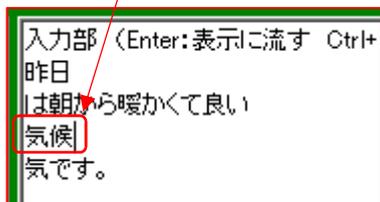
表示部は訂正されません。(変化しない)



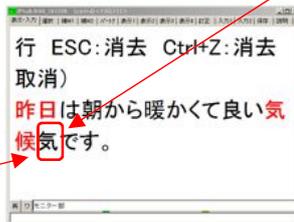
④「天」だけの行を作り F6



「天」を「気候」に変更して Shift+F6



表示部が訂正されるが「気」が残っている。



残っている「気」を半角スペースで消します。

⑤次に「気」だけの行を作り F6 キー、半角スペース「 」に訂正して Shift+F6 キーを押します。

【ポイント】

「泣き分かれ」した文は「元文」にできない。
2 度に分けて訂正する必要がある。

【ヒント】

「ルビ表示なし」の時であれば、「表示部」で「泣き分れ」した文も「実は連結していて、行末で折り返されているだけ」なので「元文」にできます。

つまり、「ルビ表示なし」の方が「訂正送信」が楽になります。

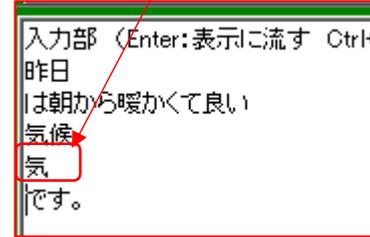
【注意】

「表示機」を「ルビ表示なし」にする場合、「補 W1」ページの「ルビを送受信する」チェックを外しただけではダメで、「表示 1」ページの「固定桁数で表示する」チェックも必ず外してください。

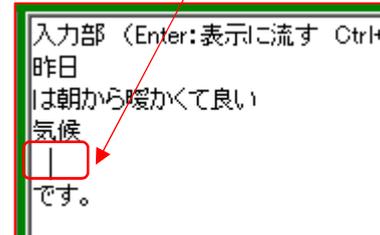
・「ルビ表示なし」にする時は、表示機を含めて入力班全員が「ルビ表示なし」にします。

⑤

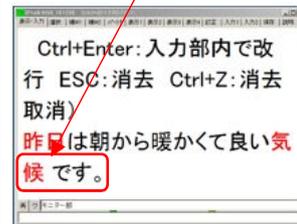
「気」だけの行を作り F6



半角スペース「 」に訂正して Shift+F6 キー



表示部の「気」が消えます。



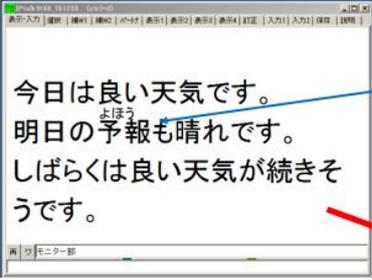
2) F5 ルビ送信機能

【概要】

・「ロール3」に表示された文を使ってF5キーで「ルビ送信」ができます。F5「ルビ送信」機能は、F6「表示訂正」機能と混在して使えます。

表示された文を前ロールにしてルビ送信ができます。

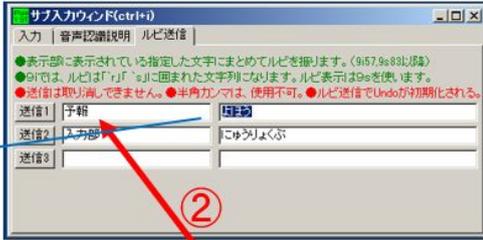
③ルビが表示されます。



①「確認」ページの「ロール3に表示を残す」チェックを入れたと、「ロール3」に1入力ごとに表示文が入るようになります。

・さらに「ルビ表示時」チェックを入れたとF5で「ルビ送信」できるようになります。

②



①

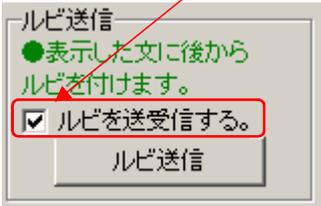
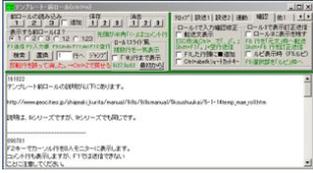


②「ロール3」で範囲選択してF5キーを押すと「ルビ送信」ページの「本文」枠に入り、カーソルが「ルビ」枠に移動します。

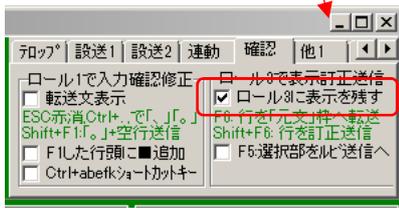
・後は、通常の「ルビ送信」と同じで、「ルビ入力」→「tabキー」→「Enter」です。

・ルビ付け後は、Ctrl+nで前ロールに戻ります。

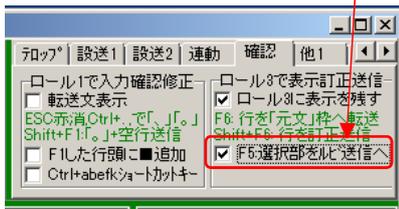
2-1)「ロール3」の「ルビ送信」の簡単な試し方

No	操作	反応
1	<p>①IPtalk9t66.exe を起動します。</p> <p>②表示設定を同じにするために、「保存」ページの「初期値に戻す」ホダンを押します。</p> <p>③「選択」ページの「上級者用(全機能)」のラジオボタンを入れています。</p>	<p>【ヒント】</p> <p>続けて試す場合も、念のため「初期値に戻す」をしてください。</p>
2	<p>①「テンプレート前ロール」ウインドを表示します。</p> <p>②「ルビ送受信する」チェックを入れて、「ルビ送信」ボタンを押します。</p> 	<p>①「テンプレート前ロール」ウインド</p>  <p>②「サブ入力」ウインドの「ルビ送信」ページ</p> 

③「テンプレート前ロール」の「確認」ページの「ロール 3 で表示訂正送信」枠の「ロール 3 に表示を残す」チェックを入れます。



④「ルビ表示時(F5: ルビ)」チェックを入れます。



③-1 説明のウィンドが出ます。

③-2「訂正送信」ウィンドが表示されます。

③-3「ルビ送受信する」チェックが入っているとメッセージが出ます。

③-4「前ロール 3」を消去しますか?と出るので「はい」を押す。

「ロール 1」と「ロール 2」も消去しておくとも良いと思います。

④ (反応なし)

【ヒント】

「F5:選択部をルビ送信へ」チェックを入れても、F6 キーの表示訂正もできます。

3 「ルビ」は、表示機と「ルビ送信」機の「桁数」が同じことを前提にしています。必ず表示機の「桁数」と合わせてください。(今回は確認のみ)

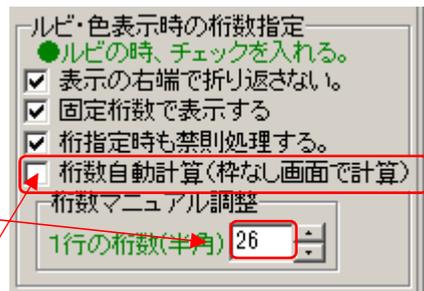
①「表示 1」ページの「ルビ・色表示時の桁数指定」枠の「1 行の桁数」を確認します。(「26」が規定値です)

②ウィンドの大きさを変えた時に、自動調整で数字が変わらないように「桁数自動計算(枠なし画面で計算)」チェックも外しておくとも良いと思います。

【ヒント】

今回は確認のみですが、実際に使う時は、表示機と「桁数」を合わせてください。

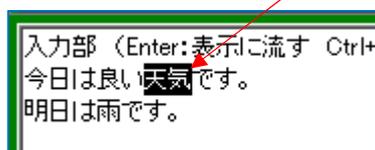
「桁数」やチェックは設定保存されます。



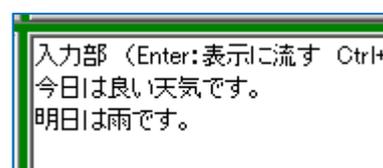
4 「メイン」ウィンドの「入力部」で何か入力して、それにルビを付けてみます。

①Enterして「入力部・・・」を表示に流し、
「今日は良い天気です。」+Enter、
「明日は雨です。」+Enter とに入力します。

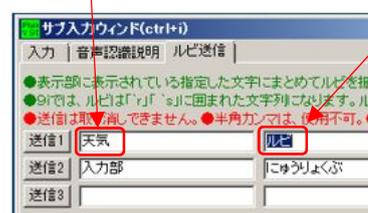
②「ロール 3」で「天気」を範囲選択して F5 キーを押します。

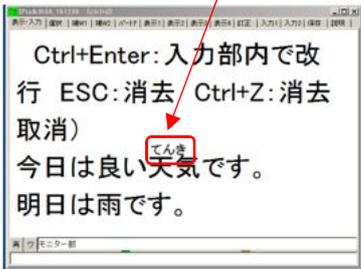
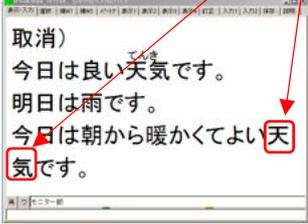
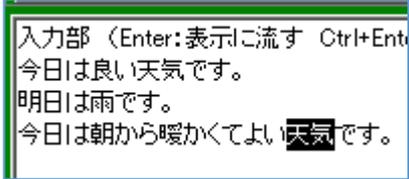
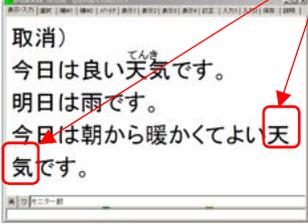
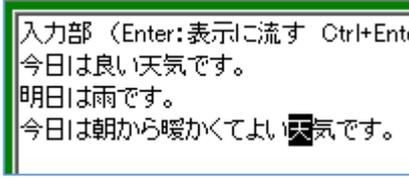
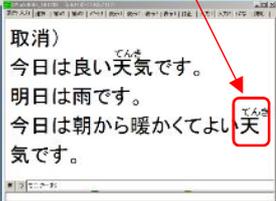


①「ロール 3」に表示されます。



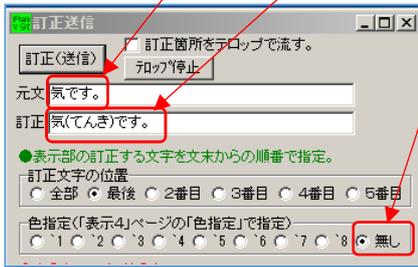
②「サブ入力」ウィンドの「ルビ送信」ページの 1 段目の「本文」枠に選択した文が入り、「ルビ」枠にカーソルが移動します。



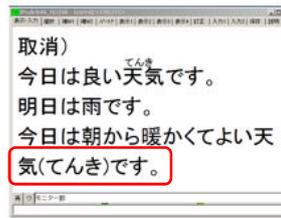
<p>③「ルビ送信」ページの「ルビ」枠で「てんき」と入力し、tab キーで「送信 1」ボタンにフォーカスを移動し、Enter キーで送信します。</p> <p>④Ctrl+n を押すと「ロール 3」にカーソル移動するので、ルビ付けを続けます。</p> <p>【ヒント】 範囲選択した「本文」は、ルビをどこから表示するかの判断に使っているだけなので、「ルビ」と「本文」が意味的に対応している必要はありません。</p>	<p>③「表示部」に「てんき」とルビが表示されます。</p> 
<p>5 「泣き分かれ」した文にルビを付けてみます。</p> <p>①入力部で「今日は朝から暖かくて良い天気です。」と入力します。</p> <p>②「ロール 3」で「天気」を範囲選択し F5、「てんき」のルビを振って Enter してみます。</p> <p>【ポイント】 ルビ表示している時は、「泣き別れ」すると、「天」+改行+「気」というように改行が入っています。</p> <p>③「天」を範囲選択して F5、「てんき」のルビを振って Enter します。</p> <p>【ヒント】 「天」に「てん」、「気」に「き」と 2 度に分けてルビを振る方法もあります。</p>	<p>①表示部に「天気」が「泣き分かれ」して表示されます。</p>  <p>⑤</p>  <p>ところが「てんき」のルビは表示されません。</p>  <p>③</p>  <p>表示部に「てんき」のルビが表示されます。</p> 

ルビ付けではなく「天気(てんき)」という方法もあります。

④F6 訂正を使って「気です。」→「気(てんき)です。」とする方法もあります。この時、「色指定」を「無し」とすると良いと思います。



④表示部の表示

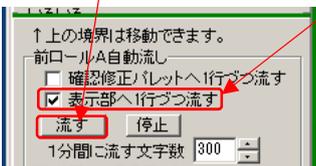


6 ルビの「本文」を範囲選択している途中で、表示が追記されてもカーソルが動いたりせず、範囲選択を続けられることを試します。

①「表示 1」ページの「空行にみ改行」チェックを入れます。

②「原稿前ロール」ウィンドを表示し、「前ロールの読み込み」枠の「A」ボタンを押して、IPTalk に同梱されていた「Oテンプレ前ロール修正の練習用音声入力量ログ.txt」などの前ロールを読み込みます。

③「原稿前ロール」ウィンドの下の方の「前ロール A 自動流し」枠の「表示部へ1行づつ流す」チェックを入れます。「流す」ボタンを押します。



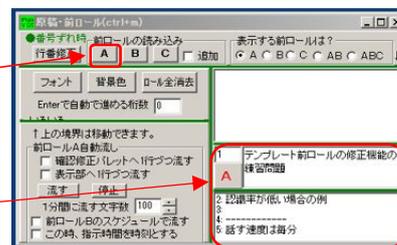
④「ロール 3」をクリックして、カーソルを「ロール 3」に置きます。「ロール 3」で何か入力したり、カーソルを矢印キーで移動させることができることを確認してください。

⑤範囲選択して F5 キーで「本文」を指定している時に表示が追加されても範囲選択が解除されないことを確認してください。

⑥「ルビ送信」した後に Ctrl+n で「前ロール 3」に戻ってくると最新行にカーソルは移ります。

⑦「停止」ボタンを押します。

②



③「表示部」と「ロール 3」に流れ始めます。

④カーソルを「ロール 3」に置くと、表示が追加されても自動的にスクロールしません。入力も通常通りにできます。

⑤【ヒント】スクロールが速過ぎる場合は、「原稿前ロール」の「1 分間に流す文字数」を「200」くらいに下げるか、「表示部」フォントを小さくして表示文字数を増やしてください。

⑥「ロール 3」にカーソルがある時だけ自動スクロールが止まります。

⑦前ロールの自動流しが止まります。